

Change yourself.

~己にもたらす三つの変化「習慣」「気持ち」「言動」~

点 滴 穿 石

立町中学校
浦幌2学年
浦上 2

担任の先生の言葉をヒントに、学級みんなで作った野球目標。一・二学期を振り返り、授業や行事などを通してどう成長できたか、振り返ってみて。

どう意識し、どう活かしたか

4月の合同運動会をスタートに、多くの行事りました。

また、授業も一段難しくなった中で、勉強の仕方なども工夫しなければならなくなりました。

そんな中で、学級目標をどう意識し、活かしてこられたのか、大きく四点にまとめると、次のようになりました。

① 周りを見て行動などをした。

2年A組★学級目標★
且かけ合いながら
みんなで
進化できる学級
にしよう



- ①「習慣」の変化
- ②「気持ち」の変化
- ③「言動」の変化

りを見て行動できるようになった。計画的に、期限を考慮する行動ができた。

○全員で協力

② 常に何かを変化させられるように意識して生活した。

③ 毎日変化した日になるように、昨日とは違うことをしようと思意識した。

④ 変化したい、変えたいところを意識した。

どう成長したか

学級目標を意識して生活する中で、どのような部分が成長したでしょうか。

「個人」と「学級」二つに分けてそれぞれ振り返ってみました。

- 「個人で成長したこと」
- 1年生の時より、いろいろなことに挑戦することができた。
- タイムマネジメントができるようになった。
- 1年生の時は周りを見て行動できていなかったけれど、2年生になって周

三年生に向けての三学期

少しずつ成長を実感しながら二学期まで頑張れた私たち二年生。短い三学期は、短い中で、修学旅行への取組や、年生になる準備、そして受験生としても勉強を頑張らなければいけない、大切な時期になります。

今までもよりも更に成長したり、学校を背負える三年生になるために、次の四点を考えてみました。

- 後輩を引っ張っていけるように頑張りたい。
- 最高学年としてお手本となり、責任感ある行動を取る。
- 学年として、1・2年生



大運動会

の見本となるような3年生になっていきたい。受験のことを考えて早めに行動し、三年生になったら余裕を持って勉強できるように、計画的な家庭学習を行う。まだまだ進化します。(森)

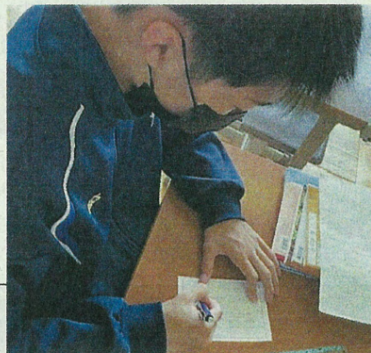
Change Yourself

学級通信は、「チェンジ・ユアセルフ」。今年の学級目標と同じ言葉が題名になっています。学級通信は、毎週金曜日に発行されます。内容は、行事をして学年が変化したことや渡辺先生の休日やったこと。テスト期間では、テスト期間での過ごし方などが書かれています。



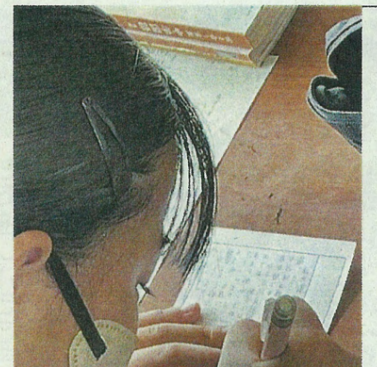
僕は、夏休み中やテスト期間の過ごし方などの話が役にたっています。(伊場)

全国中学校総合文化祭に出展



今年度も、国語の授業で『はがき新聞』を活用した随筆を書いています。今年度は、「二年生になつての抱負と決意」、「大運動会を終えて」、「新聞投稿(左)に掲示」、「初の

今年度も、国語の授業で『はがき新聞』を活用した随筆を書いています。今年度は、「二年生になつての抱負と決意」、「大運動会を終えて」、「新聞投稿(左)に掲示」、「初の



2024年6月20日(木)
(3) 学校の变化
義務教育学校が...
増加している理由...
義務教育学校は、義務教育の普及により、全国的に人口減少に伴って増加しています。全国的に人口減少に伴って増加しています。全国的に人口減少に伴って増加しています。

▼11月12日、11月13日に、私たちは浦幌町内の事業所に職場体験をさせていただきました。今年度からは、浦幌中学校の生徒のみなさんと一緒に体験活動となりました。「浦幌町立図書館」、「レストランURATIE」、「浦幌町立浦幌小学校」、「浦幌町農業協同組合」には各校それぞれ一人ずつの2人組で、「浦幌町立診療所」には本校一人を含む3人がお世話になりました。2日の体験で、たくさん質問をさせていただき、「働くこととは」について考える機会となりました。(森)

レストラン

私はレストラン URATIE に行きました。私達の職場体験の目標は「積極的に行動し、ふさわしい行動などのマナーを身につける」になっていました。

- ◎玉ねぎを切るときはできるだけ早く切ること
- ◎廊下、椅子、机はしっかりときれいにする
- ◎接客をする時は笑顔で相手の目を見て話すこと

次に、1日目の体験の流れについて。「弁当の具材入れ、弁当の配達、アルミカップと弁当容器の準備、玉ねぎの調理」でした。

1日の体験の流れ(1日目)

- ①お弁当の具材入れ
- ②お弁当を配達
- ③アルミカップ、弁当容器の準備
- ④たまねぎの調理



1日の体験の流れ(2日目)

- ①廊下掃除
- ②椅子、机拭き
- ③接客



2日目の体験の流れは、「廊下掃除、椅子と机の拭き掃除、接客」でした。更に学習を深めるために、事業所の方によくつか質問をしました。そして次のようなことが分かりました。

◎弁当の具材を入れるとき

また、見学の中で色々な人と関わりがあることが分かりました。他の店の人と仕事の話などをして、料理を持っていくとき、明るく声を掛けていた様子を見て、たくさんの人と関わりを持つことの大切さが分かりました。今回の職場体験で、料理のことについてもっと知ろ思いました。

働く意義を学ぶ 職場体験学習～



ことを、これからの進路に活かしていきたいです。(森)

町立病院 看護師

一日目の体験の流れは、

- 「病院の中の案内」、「注射やレントゲン」、「リハビリの見学」、「患者さんが食べるお昼ご飯の配膳」、「血圧測定」、「質疑応答」でした。
- 二日目は、「ベッドシーツの取り換え」、「入浴介助薬の選別」、「ご飯の配膳」をしました。

働いている人を見て感じたこと・知ったこと

- ・患者さんにご飯を食べさせる時は**口に衝撃を与えながら**ご飯を食べさせていた。
- ・患者さんに**寄り添いながら**やさしく声掛けをしていた。
- ・患者さんとの**コミュニケーション**が上手だった。



仕事での様子は、リハビリをする時は患者さんとコミュニケーションが大切だということでした。また、薬の選別を実際にやってみることもできました。最初は難しそうでしたが、多くの作業をコンピュータがやっていたので、医療

現場の機械化が進んでいることが分かりました。働いている人を見て分かったことは、患者さんにご飯を食べさせるときや、患者さんとのコミュニケーションが上手だった。患者さんがご飯を食べる時に口をあけてくれないときは、口に衝撃を与えながら口を開けられるよう工夫していることも分かりました。また、患者さんと接する時には優しく寄り添いながらコミュニケーションをとっていることも分かりました。学習を深めるために、いくつか質問をしてみました。これらのことが分かったのは、患者さんと関わる上で大事なことは気持ちに寄り添ってあげることや理解してあげることでした。

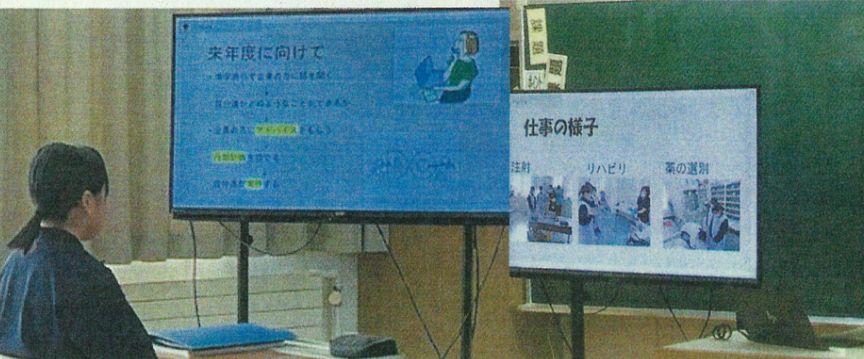


勤務は昼間だけではありません。夜勤の時間は、夕方五時から、次の日の朝九時までです。また、町立病院での一日の入退院数は、多くても三人くらいです。また、浦幌町立診療所では、患者さんと関わる時は、患者さんの気持ちに寄り添ってあげることが大事だということです。

職場体験の成果を発表



職場体験をした後に、パワーポイントを使ってまとめを行いました。それぞれのまとめを、体験学習を一緒に行った浦幌中学校のみんなとZOOMを使って発表しました。浦幌中学校には、お世話になった作業所のみなさんにもお越しいただき、体験学習の成果を聞いていただきました。(竹田)



町図書館～司書～

浦幌町立図書館で職場体験をさせていただきました。体験の目標は、多くのことを将来に向けて参考にしたいです。

今回の体験の流れです。

- ①3か月の期限が切れた新刊の本の回収
- ②本DVDの貸出しなどのカウンタ業務
- ③新しく来た新刊本の整理
- ④返された本整理
- ⑤二冊自分で選んだ本のPOPづくり

⑥事業所の方への質問

以上のように体験を行いました。次に体験した内容を述べます。

まず、新刊本の整理では、ボランティアの方と本にラベルや日付を付ける作業をしました。それに返された本の整理では工夫が見られました。それは期限内に返せなかった本を入れるポストがあることです。ポストの中には、本を傷つけないようにクッションを貼ってあります。

次に、働いている人を見

仕事の様子

カウンター業務 新刊図書整理 返された本の整理



て感じたこと知ったことについてです。まず感じたことは、利用者さんが安心して本を読めるような環境づくりをされていたことです。図書館では、椅子を多く設置して高齢者の方でも本を取った棚の近くで見ることが出来ます。

最後は、利用者さんから見てもらえるような広告、POPづくりです。本の宣伝では、見やすく、取りやすい位置で飾っていました。最後に知ったことは、図書館が地域のボランティアさんと協力して作業していたことです。ここでは新刊本のラベルや日付を付ける作業をしました。

（質問）を分かったこと）

（質問）司書の仕事をしています。一番大変なのは、何の作業ですか。

（回答）配本が一番大変です。配本とは、学校などに希望された本を届ける作業です。

（体験を通して学んだこと）

まず、利用者さんの気持ちを考えて接していたことです。利用者さんが「これが見たい」と思うように宣伝などをしていました。

町内の事業所へ

～町内2中学校合同

浦幌小々小学校教諭

1日目の流れは、2〜4時間目の授業のサポート、給食、掃除、昼休み、5時間目の授業。2日目は流れはあまり変わらず、3時間目に授業体験として自分が作ったクイズをしました。

働いている先生を見て知ったことは、1つ目は、質問をされたときにその子にあった返答をしていくこと。算数の授業のとき何人もから同じ質問をされたときに同じ返答ではなく、その子がわかるように、丁寧に教えてあげています。

1日の体験の流れ(1日目)

- ①2〜4時間目授業
- ②給食
- ③掃除
- ④昼休み
- ⑤5時間目



2つ目は、周りを見て授業をしていたこと。淡々と授業を進めるのではなく、子供たちの様子を見ながら授業をしていました。

さらに学習を深めるために、先生方にくいつかの質問をしました。

Q. 1番大変な仕事内容は何か。

A. 日々の授業。1日5〜6時間分の授業をするため、その活動内容を考えるのに多くの時間を割いている。

Q. 児童と関わる時に大切にしていることは何か。

A. 接する時間を多くする。休み時間も一緒に遊ぶことで、トラブルの未然防止など多くの利点がある。

Q. 先生のやりがいは何か。

A. 運動会や学習発表会などの大きな行事が終わったとき。クラスの一団結のきっかけになる行事

仕事の様子

丸付け

給食

休み時間



なので、どう達成感をもたせるかなどを考えている。卒業担任を務めることも一つのやりがい。

今回の職場体験を通して子供と関わる楽しさを感じることが出来た。休み時間に一緒に遊んだり、たくさんの子が話しかけて来てくれてとても楽しかった。

そして、あまり自分から話しかけることが出来ない子もいるため、自分から積極的に話しかけることが大切ということもわかった。

今回学んだことを今後の進路に生かしていきたい。

(朝日)

体験を通して

お客さんがどんなふうにするかを考えて接する(POP、新刊の置き方、宣伝など)手作りした台を使って宣伝をしている

バーコードを使って管理している



（事業所の皆さんへ）

お忙しい中司書の業務教えていただきありがとうございました。

私は、バーコードを使って管理していたことが印象に残っています。

(伊場)



極端に話しかけることが大切ということもわかった。

今回学んだことを今後の進路に生かしていきたい。

(朝日)



(浦幌中の発表を視聴)

(2ページから続く)

私たちは7月3日〜4日に足寄町へ宿泊学習に行ってきた。そこでいろいろな方にお話を聞き、浦幌町と足寄町を比較した。(朝日)

はじめに

昨年は、浦幌町の魅力と課題について学習しました。魅力は「自然が豊か・人との距離が近い・特産物を使って商品を作っている」こと

昨年度の学び

- 【魅力】
 - ・自然が豊か
 - ・人との距離が近い
 - ・地元の特産物を使って商品を作っている
- 【課題】
 - ・人口減少



今年度の学びのねらい

人口減少を防ぐために、浦幌町ではどのような手立て・方法があるだろうか。

足寄町に学びを求めて

☆総合的な学習の時間に探究☆

足寄町の子育て支援について

足寄町役場を訪問し、そこで働いている門野さんに講話をしていただきました。その講話の中で学んだことは、足寄町は「子育て支援」に力を入れていることです。

「子育て支援」に力を入れ始めたきっかけは、高校が一時期1クラスになったことだそうです。足寄高校は、2クラス制なので町全体で子供を増やすために支援を始めたそうです。

その内容としては、足寄町は、子供が産まれてから高校卒業までにかかる費用を、ほぼ全額補助しています。



また、足寄高校に進学した生徒は、希望した生徒のほぼ全員が海外研修に行くことができます。場所は、カナダのウエタスキウィン市で、足寄町の姉妹都市だそうです。この講話の後、いくつか

図書館で働く地域おこし協力隊

足寄町の「地域おこし協力隊」として図書館で働いている井上さんに講話をしていただきました。

今年、地域おこし協力隊として足寄町で働いている人数は7人。しかし、以前は8人いましたが、だんだんと減ってきているそうです。

井上さんに足寄町の「課題とその解決方法」について聞いてみました。井上さんは、「まだ、図書館がみんなに知られていない。だから図書館を多くの人に知ってもらうことが課題」と言っていました。



また、「町を盛り上げるために何かしていることはあるのか」と質問してみると、「イベントに積極的に参加をすること」と言っていました。

次に「足寄町の地域おこし協力隊が手伝っているイベントはあるのか」と質問しました。すると、「らわんぶぎ祭り」や、「ウッドキャンドルナイト」などのイベントを通して手伝いをして盛り上げるお手伝いをしていくと話してくれました。



わかったこと

・地域おこし協力隊の人数

- 今年7人 前8人
- 人数が減ってきている
- ・まだ図書館が知られていない
- 図書館を知ってもらう
- 町を盛り上げるためにイベントに参加する
- らわんぶぎ祭り、ウッドキャンドルナイトなど

今年四月から読み聞かせを初め、多くの人に図書館に来てもらう取り組みを始めたそうです。

講話を聞いた感想は、地域おこし隊の人数が減っていることで、図書館をもっと多くの人に知ってもらえると思います。(石黒)

寄町の子供にかかる費用は、ほぼ全額補助されているのがめずらしいとおもいますが、町の一年に払う費用がとても多い額になりそうだと思います。(伊場)



意外においしかった“おにぎり昼食”

講話を聞いた後は、宿泊地のネイパル足寄へ移動。昼食は「おにぎり弁当」。おいしいおにぎりを食べて、みんなも笑顔が戻りました。(竹田)

宿泊学習での自分たちの変化

・全員で協力し、責任を持って準備

・一年生の時とは違い、テキパキ行動

・ルールを意識し、良き集団で活動に参加



まとめと課題

とつであ
る雌阿寒

今回の宿泊学習を通して、私たちが講話などで知ることができた足寄町の魅力は3つあります。1つ目は、足寄町の人々は優しい方が多いということ。地域おこし協力隊の井上さんは、「足寄町で優しくないと見えたことがない」と言っていました。

2つ目は、自然豊かな景色を見れること。足寄町には、日本百名山のひ

で楽しんでもらえるように、ミニ二発掘などの体験を行っていました。浦幌と同じく足寄も人口減少を止めるために、これからも色んな工夫をしていくと思っています。

来年度に向けて

・修学旅行で企業の方に話を聞く

・自分達がどのようなことができるか

・企業の方にアドバイスをもらう

・行動計画を立てる

・自分達が実行する



今回の学習をふまえて、来年は修学旅行で東京の企業を訪問し、私たちがどのようなことができるかアドバイスをもらい、新しい策を考え、浦幌町に提案できるようにしていきたいです。また、私たちが宿泊学習を通して変化させたことは、全員で協力し、責任感を持って準備できたこと、1年生の時とは違いテキパキ行動し、ルールを意識し、良き集団として活動に参加することができるようになったことです。(森)

主張

みなさんは日々の生活の中で、「自分が変わったな」とか、「なんだか成長したな」、そう実感することはありますか。私は、昨年の今頃の自分と比べると、今の自分は大きく成長していると感じています。

1つのきっかけは部活動でした。私は今年の2月、スピードスケートの全国大会に出場しました。1年生ということもあり、全国大会出場者の十勝選手団の中には、友達は数人しかいませんでした。だから、練習などで種目別に班や席が離れてしまうと、私は1人になってしまふことが多かったのです。

そんなときです。あまり話したこともなかった他の学校の子が私の近くに来て、「一緒にご飯食べてもいい?」と声をかけてくれたのです。これをきっかけに、私はその子と一緒にご飯を食べたり、バス移動でもいろいろな話をして仲良くなる事が出来ました。この出来事の後、今度は私の方から他校の子に、話しかけに行ってみました。

ると、たくさんの笑顔が返ってきたばかりではなく、私の気持ちも一変し、全国大会という舞台を楽しく過ごすことができたのです。また、大会後も仲良くしてくれる人が増え、人間関係を広げることができました。

人と話すことに苦手意識があった私ですが、この経験から、自分から話しかけたら、すれ違う人に自分から挨拶できるよになり、人と話すこと自体が大好きになったのです。春、2学年になつた私たちが学級目標も、私に「次の大きな変化」をプレゼントしてくれました。「チェンジ・ユア・セルフ」。副題は、「己にもたらし三つの変化」これが私たちの今年の目標です。私自身も、これを意識して生活するようになったので学習面でも変化が見えてきました。私は思いきって昨年と大きく勉強の仕方を変えました。今年から、定期テストの回数が減り、単元テストの回数が各教科とも増えたのです。これも勉強の仕方を変える良いきっかけに

大会賞状
発表会
意見発表
浦幌町最優

自分の変化

二年 朝日優衣

画・実行するようにしようとしていきます。

てみました。すると、苦手だった教科も点数がとれるようになったのです。この「チェンジ」は今後もどんどん続けていこうと思っています。こうした挑戦は、生活習慣も変化させました。私は早い起床が苦手でした。昨年末ではバスが来るギリギリまで寝てしまい、朝の準備がバタバタ状態で、忘れ物をすることもありました。しかし、今年は意識して昨年よりも30

分早く起きるようにしています。こうすることで、朝の準備も余裕をもってできるようになりました。このことで、前日の時間を考えて生活したり、1時間目の学習もしっかりと頭が働くようになってきたと思います。「意識して行動に移す」

これを意識することで私は、昨年までの自分を変化させることができました。今後とも今まで変化させてきたことをさらに良い方向に向けて、まだ足りない部分を減らす挑戦をしていきたいです。私の挑戦はまだ続きます。これからの大きな目標は部活と勉強の両立。大会でも受験を意識した勉強でも、満足のいく結果に結びつくように1日1日を大切に自分を変化させていきたい。そして来年、3年生になったときに、「もう一段成長できた」と感じられるようにしたいです。

チャンスはそこにあります。みなさんも自分を変化させてみませんか。



第66回 十勝子ども大会 中学生の意見発表会、十勝大会



化石博物館を探索

足寄町の化石博物館では、学芸員さんにお話を聞いた後、発掘された化石などの見学や体験活動をしました。

化石を見ても、なぜか笑顔とピースが出ます。

新しい4人で頑張っています

～2年生3人&1年生一人で活動中～

学校の中心☆執行部!

選挙で承認され、後期から新しい執行部で活動を始めました。メンバーは2年生が3人、1年生が一人の計4人です。

今、執行部で行っている計画・活動は4つあります。



一つ目

は、挨拶運動です。挨拶運動では、挨拶を元気にしてもうため、毎週月曜日の朝に各教室と職員室に行き挨拶をしています。

二つ目は、学習会です。一か月に一度行っています。学習会では、全校で教え合いながら、学力を高め

合う取り組みをするために、全員がよい雰囲気のできるよう環境を作っています。

四つ目

は、「生徒会誌」の発行です。生徒会誌では、1年間の活動を文章と写真でまとめるほか、「1年間で一番笑ったこと」など楽しい企画も考え、全校生徒に書いてもらい、編集して載せるよ



うにしています。

このほかに、三学期には「新入生説明会」での活動のPRや、「卒業式・離任式」に向けての挨拶や準備の仕事も待っています。これら生徒が行うことの中人に立って執行部は仕事を進めていこうとしています。いつでも楽しく、全員がよい雰囲気です。いい中学校にしていきたいために活動していきます。(森)



三つ目は、冬休み前集いです。全校生徒で交流することを目的に、執行部が企画したレクリエーションなどをしています。全校生徒に楽しんでもらえるように、ビンゴや射的の打ちなどの遊びもやっています。

12月5日の参観日に、宿泊学習でのまとめの発表会を行いました。(内容は4・5ページを見てください)

タブレットを使い、パワーポイントで資料を作成し準備は完成。それぞれで発表練習を



してから、発表会を行いました。

この日はみんなの家の保護者が見に来てくれました。たくさんの方が見ている中で緊張しましたが、タブレットを使って上手に発表できたと思います。

全員の発表が終わった後、参観してくれた保護者からたくさん質問が出てきました。ちょっとビックリしましたが、緊張していたり、予想していた質問と違っ



編集後記

新聞の題名は、「点滴穿石」です。「小さな努力でも積み重ねれば、大きなことを成し遂げることができる」という意味があります。一年生はみな



な、なんて答えよう・・・
ど、どうする・・・

ていたのでなかなかスムーズに答えられませんでした。が、いい勉強になりました。(朝日)

赤い羽根共同募金



今年も二学期の最後を飾る取組、「赤い羽根共同募金」を行いました。朝から呼びかけが始まり、各教室を執行部で回りました。

休み時間を利用して、職員室や校長室でも協力をお願いしました。募金してくれた皆さん、ご協力ありがとうございました。(石黒)



感謝の気持ちは、会長の笑顔で!



皆さんの気持ちと募金を浦幌町の「共同募金会」に届けます!



第一面の「学級を振り返る」にもあったように、これからも3年生に向けて、一人一人が努力をねていきたいです。(石黒)

朝日優衣・石黒結愛
伊場奏太・竹田颯汰
森彪乃介